

動画投稿の危険性について

インターネット上で、不特定多数の利用者が投稿した動画を無料で見ることができるサービスが人気を集めています。スマートフォンひとつで動画の撮影から投稿までできるため、動画を見るだけでなく、自分で撮影した動画を投稿している子どもたちも増えています。

しかし、動画投稿をきっかけにトラブルに巻き込まれてしまうケースもあり、大きな問題となっています。

インターネットへの動画投稿をきっかけに起きた問題例



■ 不適切な動画を投稿して炎上した

「注目を集めたい」といった動機から、公共の場で迷惑行為をしている様子や、危険行為をしている様子、立ち入り禁止場所に進入している様子などの不適切な動画を投稿している人たちがいます。こうした動画を投稿すると、動画を見た人から非難のコメントが集まり、個人情報も特定されて、動画と一緒にさまざまなサイトに掲載されることがあります。



この角度ならこの辺から撮ったのかな

■ 動画から住所や居場所を特定された

動画に映り込んだ家の内観や特徴的な建物、街の風景などから、住所や居場所を特定されることがあります。実際に動画を見た人から住所や居場所を特定され、会いにこられてしまったケースもあります。



なんで？私の動画が無断で載せられている～

■ 勝手に動画を転載されてしまった

インターネットに投稿された動画は簡単に保存することができます。不適切な動画でなくても、気になった動画を保存して、いたずらなどを目的にさまざまなサイトに載せていく人がいます。そうやって動画を転載されると、それらをすべて削除することは難しくなります。

インターネットへの動画投稿はさまざまなトラブルのきっかけになることもあるということを子どもたちに理解させ、動画を投稿する前に、不適切な内容でないか、住所や居場所につながる情報が含まれていないか、二度と消せなくなっても大丈夫なものかを必ず確認するよう指導していくことが大切です。